



# 脳神経内科学講座

## ● 講座紹介

脳神経内科学講座は、2025年1月、内科学(2)講座から分かれて誕生しました。科長はわが国有数の脳卒中教室出身であり、数々の大規模臨床研究にてエビデンスを創出した経験があります。当科は以前より脳梗塞診療を行ってきた全国でも珍しい大学病院であり、一次脳卒中センター・コア施設(PSCコア)として脳神経外科と協働して福井県の脳卒中診療に尽力してきましたが、さらに充実した診療・研究・教育を推進する体制を整えていきます。

脳卒中以外にも、認知症やパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患、多発性硬化症や重症筋無力症、自己免疫介在性脳炎・脳症などの神経免疫疾患、筋炎や筋ジストロフィーなどの筋疾患、脳炎やてんかんなどの神経救急疾患、そしてミトコンドリア病などの遺伝性疾患など、多種多様な神経・筋疾患、神経難病に取り組んでいます。

「21世紀は脳の時代」といわれ四半世紀が過ぎました。社会構造の変化によって日本のみならず世界の先進国は軒並み高齢社会に突入しており、脳神経内科の需要は高まるばかりです。新たなスタートを切り、フレッシュで活気に満ちた当教室とともに成長していきましょう！

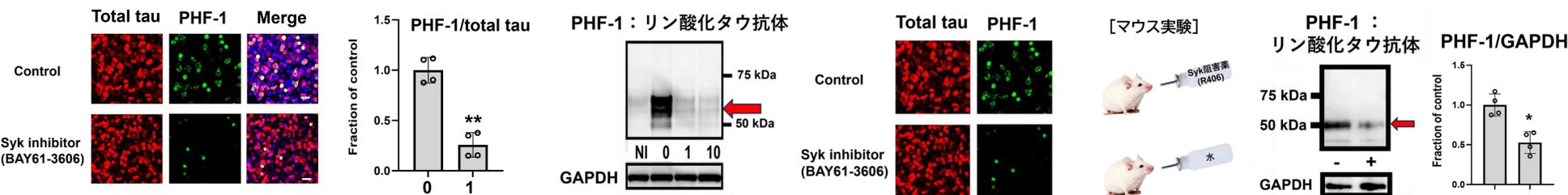
## ● 構成メンバー

福井県・福井大学出身に限りません。出身地としては東京都、埼玉県、静岡県、愛知県、岐阜県、石川県、滋賀県、大阪府、兵庫県と様々です。卒業大学は弘前大学、自治医科大学、日本医科大学、金沢大学、兵庫医科大学と学閥はありません。

出身に関わらず、和気あいあいとしながら切磋琢磨して、one teamで福井県の医療を支えています。

福井県の脳神経内科をよりよくしたい、福井愛を宿している皆さんを大歓迎いたします。

## ● 研究紹介 ～福井大学での発見をアルツハイマー病治療に繋ぐ～



“Syk(Spleen tyrosine kinase)”は、福井医科大学(当時)の山村研究室で、ブタ脾臓から発見されたチロシンキナーゼである。2025年時点で臨床的に使用できるSky阻害薬は、慢性自己免疫性血小板減少症(ITP)に対するホスタマチニブがある。今回、山口智久先生は、Syk阻害薬がアルツハイマー病で問題となるリン酸化タウを減少させることを発見しました。福井大学発のSykに対して、その阻害薬が神経変性疾患の治療に繋がる可能性が示唆されました。

- ◆ 福井大学高エネルギー医学研究センター、地域医療推進講座、地域健康学講座などとコラボレーションした研究を実施中
- ◆ 今後の予定:国内にて多施設共同の大規模臨床研究を計画中

## ● 寄付講座

2025年8月、「神経難病先端医科学講座」が設置されます。特命講師に佐伯千寿先生、客員教授として五十嵐博中先生が着任します。主に筋萎縮性側索硬化症に関する研究を進めていく予定です。

## ● 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	朝カンファレンス 外来・病棟診療	朝カンファレンス 外来・病棟診療	脳内・脳外合同 カンファレンス 外来・病棟診療	抄読会 新患紹介 教授回診	朝カンファレンス 外来・病棟診療
午後	救急・病棟診療	筋電図検査 神経伝導検査 超音波検査(血管)	脳内カンファレンス 症例検討会 抄読会 医局会	筋電図検査 神経伝導検査 超音波検査(血管)	救急・病棟診療 経食道心エコー検査
		脳内・消内合同 カンファレンス			リハビリ カンファレンス

## ● 問い合わせ先

研究棟(基礎) 4階

ホームページ: <https://www.med.u-fukui.ac.jp/laboratory/neurology/>



## ● 学生・研修医のみなさんへ

脳神経内科はわからない病気が多くて、とっつきにくいと思っていることでしょうか。多くの診療科がまずは検査、次に診察という時代に、先に自分が診察して病巣や鑑別疾患を想定した後に検査結果で答えを知るといふ「推理小説のような」診療を行います。徐々に診断の質の向上を自覚した時の喜びは脳神経内科ならではと思います。どの分野に進んでも神経・筋の症状を訴える患者さんには遭遇するでしょう。苦手意識を減らすお手伝いをいたします。皆さんの長い医師人生のスタートを応援します。